

事業計画書目次

[みどり環境局]

9款2項2目

(単位：千円)

計画 書頁	事業名	令和8年度		令和7年度		増△減（8－7）		新規・ 拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	横浜市立動物園管理運営事業	2,742,657	2,625,159	2,415,706	2,309,683	326,951	315,476	
2	動物収集事業	29,443	5,443	29,452	5,452	△ 9	△ 9	
3	動物園基金事業	10,200	5,200	10,200	5,200	0	0	
4	繁殖センター管理運営費	0	0	64,693	64,014	△ 64,693	△ 64,014	
5	希少動物海外交流事業	0	0	1,375	1,375	△ 1,375	△ 1,375	
	計	2,782,300	2,635,802	2,521,426	2,385,724	260,874	250,078	

令和8年度 事業計画書

事業局課	みどり環境局	動物園課				新規拡充		□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	1	
歳出予算科目	一般会計	9	款	2	項	2	目	政策群番号	14	施策群番号	31	
事業名称	横浜市立動物園管理運営事業											

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	2,742,657	0	1,600	115,898	0	2,625,159
令和7年度	2,415,706	0	1,600	104,423	0	2,309,683
増▲減	326,951	0	0	11,475	0	315,476

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	2,371,783	2,362,497	2,742,657		2,742,657	2,742,657
	市債＋一般財源	2,267,967	2,252,831	2,625,159		2,625,159	2,625,159
決算	事業費	2,368,423	2,410,611				
	市債＋一般財源	2,260,992	2,302,901				

事業概要 (アクティビティ)		よこはま動物園ズーラシア、野毛山動物園、金沢動物園、野毛山公園（動物園を除く。）及び金沢自然公園（動物園を除く。）を指定管理者（（公財）横浜市緑の協会）が一体的に管理運営することにより、来園者サービスの向上を図ります。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
環境教育・学習プログラムの改善件数	単位	目標	3	3	3	3	3	3	3
	件	実績	5	4					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
来園者アンケートにおける満足度	単位	目標	98	98	98	98	98	98	98
	%	実績	98	97					
事業目的		横浜市立動物園は、都市公園法に基づく公共の福祉の増進に資するため設置された施設であり、博物館法に基づく教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に設置された博物館相当の施設です。 生物多様性保全の重要性を人々に伝える自然との架け橋としての役割を担うとともに、動物たちを知り動物たちから感動を得ながら、いのちの大切さを学ぶ場を提供し、生きものと共生する文化の構築に貢献します。							
背景・課題		動物園の管理運営のうえで必要となってくる光熱費・飼育費等の価格高騰が課題となっている。							
根拠法令・方針決裁等		横浜市動物園条例、横浜市動物園等の指定管理者の選定及び評価に関する要綱、横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会要綱、横浜市動物園等の指定管理者の評価に関する要領							
根拠・データ等		・平成18～22年度は、指定管理者として（公財）横浜市緑の協会がよこはま動物園ズーラシアの運営。 ・平成19年度までは、市が野毛山動物園と金沢動物園を運営。 ・平成20～22年度は、野毛山動物園と金沢動物園を指定管理者制度に移行し、3園一体管理に移行。 ※指定管理者：（公財）横浜市緑の協会 ・平成23～27年度は、引き続き3園一体管理で運営（第2期指定管理期間、指定管理者：（公財）横浜市緑の協会） ・平成23～24年度に、外部委員会による動物園にふさわしい運営体制の検討の実施。 ・平成25年4月に、よこはま動物園ズーラシア「アフリカのサバンナ」を一部開園、平成27年4月に全面開園。 ・平成28年4月に、金沢動物園「オセアニア区」リニューアルオープン。 ・平成28～令和7年度は、引き続き3園一体管理で運営（第3期指定管理期間、指定管理者：（公財）横浜市緑の協会） ・令和7年4月に、野毛山動物園「なかよし広場等」リニューアルオープン。							
事業スケジュール		3動物園にかかる下記業務 ・管理運営にかかる業務（通年） ・その他連絡調整（通年）							
事業開始年度		平成20年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引(増減)	増減説明
	1	横浜市立動物園管理運営事業	2,742,657	2,415,706	326,951	指定管理料の増
	細事業合計		2,742,657	2,415,706	326,951	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長		
	白井 智廣		今野 友香里	

令和8年度 事業計画書

事業局課	みどり環境局	動物園課				新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充		事業評価書番号	2	
歳出予算科目	一般会計	9	款	2	項	2	目	政策群番号	14	施策群番号	31
事業名称	動物収集事業										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	29,443	0	0	24,000	0	5,443
令和7年度	29,452	0	0	24,000	0	5,452
増▲減	▲9	0	0	0	0	▲9

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	14,574	14,452	29,443		29,443	29,443
	市債＋一般財源	5,574	5,452	5,443		5,443	5,443
決算	事業費	12,481	13,102				
	市債＋一般財源	6,285	5,452				

事業概要 (アクティビティ)		横浜市立の3動物園の動物展示の維持及び種の保存に必要な血統更新のために、種の保全推進員会で承認された保全収集計画に基づき、国内外の政府、自治体、動物園等と連携しての新規個体の収集と輸送を行います。さらに、計画推進に必要な情報交換・収集、計画の調整、生息地調査や技術習得などを促進し、動物園の魅力アップと種の保全事業を推進します。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
動物収集実績	単位	目標	10	10	10	10	10	10	10
	件	実績	10	18					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
重点保全種の継続的な飼育・展示が実現している	単位	目標	33	33	34	34	34	34	34
	種	実績	33	33					
事業目的		動物の収集を通じて動物園の魅力アップと国内外の動物種の保全事業に取り組むことで、国際都市横浜として世界規模での生物多様性への貢献と身近な自然の保全に寄与していくことを目的とし、市民に環境教育と憩いの場を提供しつつ「横浜市環境管理計画」の推進に貢献していきます。							
背景・課題		国際的な希少動物の保全をするうえで海外関連施設や団体との協力関係の構築が重要です。さらに、欧米を中心とした飼育動物の「アニマルウェルフェア（動物福祉）」の基準の厳格化により海外からの動物の譲渡・貸与等の入手が困難となってきました。また、輸送費等経費の高騰が予算を圧迫し、海外からの動物収集が困難となりつつあります。国内の生物多様性保全を推進するために、外部の組織・団体との連携や現地調査、研修等が増加する傾向にあります。							
根拠法令・方針決裁等		種の保存法、博物館法、動物の愛護及び管理に関する法律、横浜市動物管理要綱、種の保全のための繁殖、展示及び収集等の計画に関する取扱要領等							
根拠・データ等		【動物搬出入実績（主なもの）】 実績6年度：ユーラシアカワウソ（ポーランド）、アラビアオリックス、その他 予定7年度（予定）：オオアリクイ（アメリカ 7月搬入済み）、インドサイ、アカハナグマ、その他 【情報収集等】 実績6年度：SEAZA（東南アジア動物園協会：台湾）総会 ×2名 予定7年度：オカビ種保存計画（SSP）会議（アメリカ）、WAZA（国際動物園水族館協会）総会（コロンビア） SEAZA（東南アジア動物園協会）（シンガポール）総会							
事業スケジュール		1 動物の補充・交換は、保全収集計画に基づき相手方との調整がつき次第実施します。 2 海外との収集活動は動物園組織の年次会議などに積極的に参加し、具体的な協議を進めます。 3 国内希少種の保全に関する政府及び関連団体等との情報交換や生息地の調査への参加を推進し、動物収集と保全活動への参画を推進します。							
事業開始年度		随時継続							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)		細事業名称	8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
		1 動物収集事業	27,800	27,800	0	
		2 情報収集事業	1,643	1,652	▲9	輸送経費の見直しによる減
		細事業合計	29,443	29,452	▲9	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	白井 智廣	五十嵐 隆	

令和8年度 事業計画書

事業局課	みどり環境局	動物園課				新規拡充	□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	6	
歳出予算科目	一般会計	9	款	2	項	2	目	政策群番号	14	施策群番号	31
事業名称	動物園基金事業										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	10,200	0	0	5,000	0	5,200
令和7年度	10,200	0	0	5,000	0	5,200
増▲減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	13,220	20,700	10,200		10,200	10,200
	市債＋一般財源	5,219	5,200	5,200		5,200	5,200
決算	事業費	60,495	94,927				
	市債＋一般財源	5,114	5,096				

事業概要 (アクティビティ)		横浜市へのふるさと納税を基金へ積立し、海外から中大型動物の導入を行う財源とする。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
ふるさと納税額（年 度）	単位	目標	8,000	15,500	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	千円	実績	54,880	89,331					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
基金の積み立て額（ 年度）	単位	目標	13,001	20,500	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	千円	実績	60,381	94,831					
事業目的		下記背景と課題に対応するため、動物収集を資金的な裏付けの下で着実に行えるよう、動物園に不可欠な動物の収集及びこれに附帯する事業の推進に活用します。							
背景・課題		動物園の4つ役割の一つとして、「種の保存」があることから、生物多様性の保全への国際的な貢献が求められています。これに対応するためには、遺伝的多様性の確保等から国際間での調整が必要であるという背景と課題があります。							
根拠法令・方針決裁等		ワシントン条約（CITES）、地方税法第37条の2、地方自治法第241条、横浜市動物園基金条例							
根拠・データ等		ワシントン条約（CITES）や海外との調整後、中大型動物が導入可能になった際に実施。							
事業スケジュール		寄附金等受納 令和8年4月以降 随時受け入れ後基金へ積立							
事業開始年度		平成29年度							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引 (増減)	増減説明
	1	動物園基金事業	10,200	10,200	0	
	細事業合計		10,200	10,200	0	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	白井 智廣		今野 友香里